

菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略
平成 28 年度
進捗状況報告書(中間報告)

平成 28 年 10 月 31 日時点

目次

第1編 総論

- 1 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要……………1
- 2 菊川市の人口動向……………2
- 3 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況……………4
- 4 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系……………6

第2編 基本事業

- 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
 - (1)子育て・教育環境の更なる充実……………10
 - (2)都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち……………19
 - (3)シティプロモーションの実施……………23
- 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
 - (1)郷土愛を育むまち……………26
 - (2)「働く場」と「出会い」があるまち……………28
 - (3)アクセスの良さを活かした住環境の整備……………35
 - (4)自己実現できるまちづくり……………39
- 3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出
 - (1)儲かる次世代農業モデル……………42
 - (2)農業女子が輝ける菊川プロジェクト……………48

第3編 資料編

- 1 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要
 - (1)基本指標について……………53
 - (2)重要業績評価指数(KPI)について……………54

第1編 総論

平成28年度 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況報告書(中間報告)

1 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

(1) 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成26年11月に成立した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、市では人口減少や急速な少子高齢化に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的として、「菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

(2) 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の構成と進捗管理

菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、3つの基本目標と9つの基本施策により構成されています。各基本目標及び基本施策には数値目標を設定し、進捗管理を行っています。

(3) 本報告書の構成

本報告書では菊川市の近年の人口動向及び基本目標に設定されている5つの基本指標と、基本施策に設定されている14の重要業績評価指数（KPI）について掲載し、菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられる全ての事業について、今後の展開を記載しています。

2 菊川市の人口動向

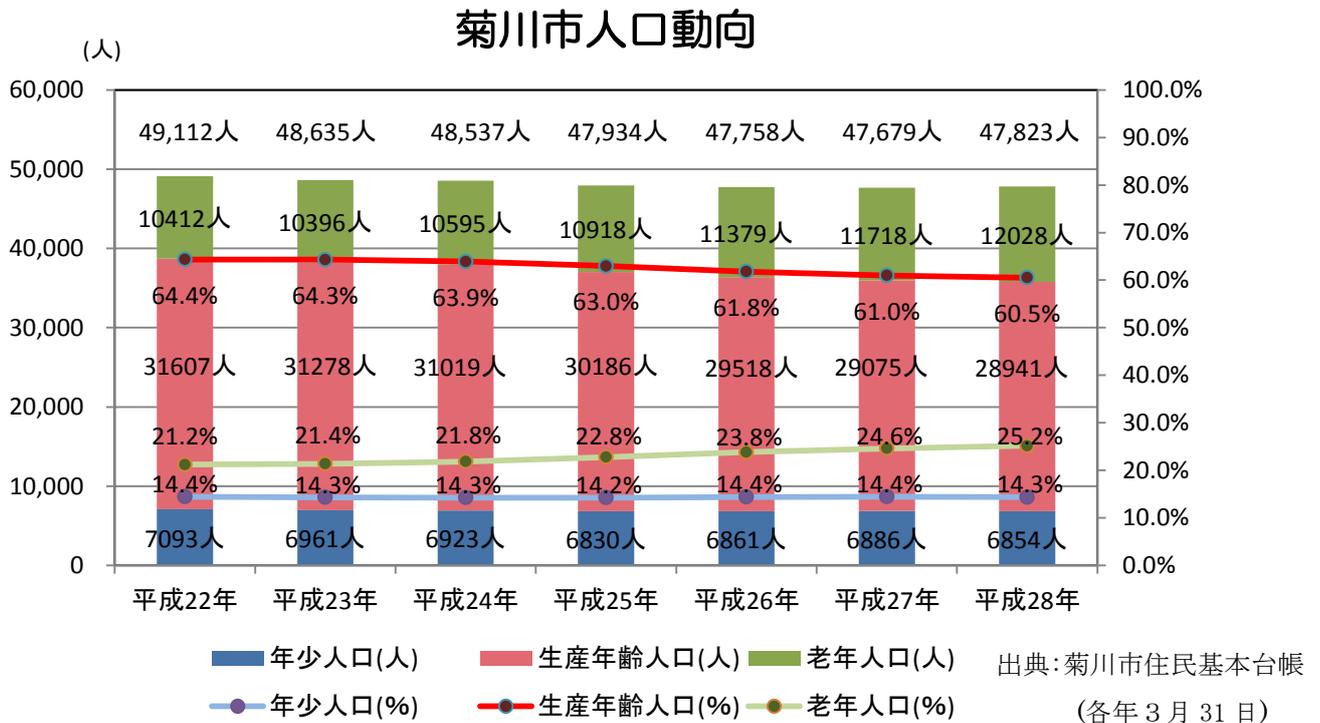
(1) 人口推移について

平成27年度に実施した国勢調査結果（確報値）によると、菊川市の人口は46,763人となり、平成22年度の47,041人から278人減少しました。しかし、国立社会保障人口問題研究所の推計人口である46,300人を463人上回る結果となりました。

また、市の目標人口である46,301人を462人上回る結果となりました。

(2) 人口構成について

平成27年度末(平成28年3月31日)時点での菊川市の人口構成について、年少人口率はほぼ横ばいですが、生産年齢人口率は低下、老年人口率は上昇傾向にあります。

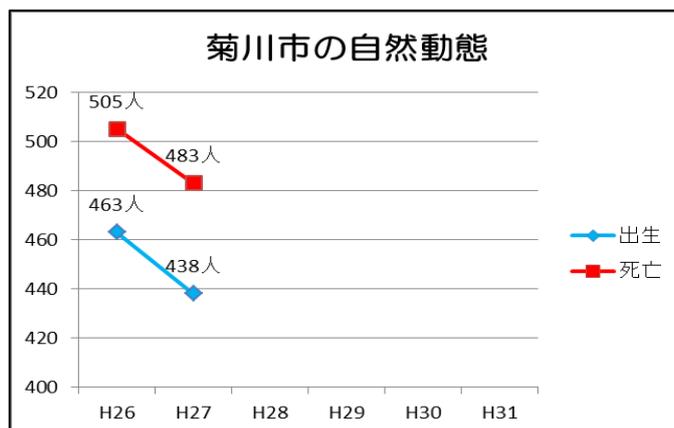


(3) 自然動態について

平成 28 年度上半期の出生数は 198 人、死亡数は 207 人であり、合計すると 9 人の自然減少が起きています。平成 27 年度は 45 人の自然減少であり、自然減少傾向が続いています。

出生	198 人
死亡	207 人
自然動態	▲9 人

※H28.4～H28.9

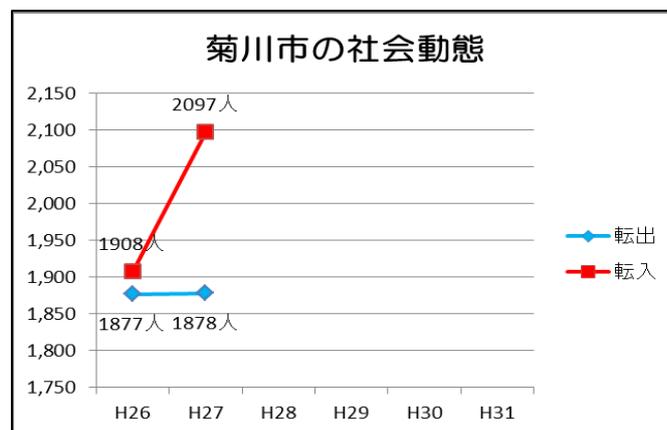


(4) 社会動態について

平成 28 年度上半期の転入数は 1,135 人、転出数は 972 人であり、合計すると 163 人の社会増加が起きています。平成 27 年度は 219 人の社会増加であり、社会増加傾向が続いています。

転入	1,135 人
転出	972 人
社会動態	163 人

※H28.4～H28.9



(5) 平成 28 年度上半期の人口増減について

自然動態	社会動態	その他※	合計
▲9 人	163 人	▲34 人	120 人

※その他には職権消除等が含まれる ※※H28.4～H28.9

進捗状況：今年度の事業スケジュールに対する 10/31 時点での進捗割合
 達成状況：今年度の事業目標に対する 10/31 時点での達成割合、ただし数的目標でない場合は実施中と記載、また、事業内容や目標が未設定の場合は—を記載

3 基本事業の進捗状況及び達成状況について

各基本事業について、平成 28 年 10 月 31 日時点での進捗状況及び達成状況を報告します。

事業名	H28 中間 進捗状況	H28 中間 達成状況	該当 ページ
基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち			
高校生への「こころとからだについて」の出前授業の実施	50%	25%	10
認定こども園制度への取組み	50%	—	11
一時保育等の利便性の向上	50%	51%	12
妊娠出産時ホームヘルプサービスの利用補助	30%	5%	13
教育・保育施設の利用者負担への支援	70%	200%	14
菊川市新生児出産祝金事業	50%	62%	15
子育てアプリの開発	40%	実施中	16
子育て支援に係るホームページ上での総合案内	50%	51%	17
ICTを活用した授業の推進	60%	実施中	18
交流促進ツアー、イベントへの支援	80%	100%	19
地域資源を活かした集客促進	50%	—	20
茶交流体験促進事業の実施	80%	57%	21
菊川駅北口及び駅北地域の将来構想の策定	60%	実施中	22
菊川市魅力発信事業	100%	16%	23
メディアを利用した情報発信	100%	68%	24
菊川の教育 親子見学ツアーの検討	50%	63%	25

事業名	H28 中間 進捗状況	H28 中間 達成状況	該当 ページ
基本目標2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち			
ふるさと志向力を育むキャリア教育	75%	257%	26
高校生ふるさとセミナー	50%	130%	27
企業誘致に向けた取り組みの推進	50%	50%	28
創業の支援	50%	35%	29
若者・女性・高齢者の就業支援及び就労環境の向上	50%	35%	30
U・Iターン者の就業促進と人材育成支援	40%	0%	31
就業支援を含む奨学金制度の検討	50%	実施中	32
婚活支援イベント	50%	実施中	33
同窓会への補助事業	25%	—	34
空き家対策事業の推進(特定空き家)	60%	480%	35
空き家対策事業の推進(空き家の利活用)	50%	0%	36
菊川市住宅取得補助制度	70%	8%	37
土地区画整理事業(住宅地の提供と生活環境整備)	70%	100%	38
菊川市次世代農業推進事業(雇用)	40%	実施中	39
菊川市市民協働センターの設置	50%	795%	40
+10 でロコモ予防～高齢者への介護予防等の推進～	65%	0%	41
基本目標3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出			
菊川市次世代農業推進事業(拠点整備)	40%	実施中	42
新規就農者への積極的な農地あっせん	85%	実施中	43
地域特産物推進事業	50%	実施中	44
転作・営農指導	40%	—	45
転換費用軽減支援	40%	—	46
農林技術研究所との連携	60%	—	47
農林大学校等と連携した女性の就農推進	30%	—	48
農業女子による情報発信	30%	—	49
圃場環境整備支援事業	30%	—	50
作業環境整備支援事業	30%	—	51

4 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系

菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略は3つの基本施策と9つの基本施策で構成されており、それぞれに基本事業(全20事業)が設定されています。

基本目標1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策

- (1)子育て・教育環境の更なる充実
- (2)都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち
- (3)シティプロモーションの実施

基本事業

- (1)-①若年者への結婚出産の啓発
 - ②子育て支援体制の充実
 - ③子育て世帯への経済支援
 - ④ニーズに合わせた子育て情報の発信
- (2)-①地域資源を活かした交流の推進
 - ②駅周辺のまちづくりの推進
- (3)-①知名度向上戦略の展開

基本目標2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策

- (1)郷土愛を育むまち
- (2)「働く場」と「出会い」があるまち
- (3)アクセスの良さを活かした住環境の整備
- (4)自己実現できるまちづくり

基本事業

- (1)-①若者の郷土愛を育む
- (2)-①新企業の進出促進・創業の支援
 - ②U・Iターン者、女性、高齢者にむけた多様な就労環境の創出
 - ③婚活支援
- (3)-①子育て世代や若者の定住促進
- (4)-①若者・女性・高齢者が活躍できる地域づくり
 - ②健康寿命の延伸

基本目標3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出

基本施策

- (1)儲かる次世代農業モデル
- (2)農業女子が輝ける菊川プロジェクト

基本事業

- (1)-①付加価値の高い農業モデルの創出
 - ②農産物のブランド化
 - ③高収益作物との複合経営の推進
 - ④耕作放棄地化の未然防止
- (2)-①アグリ姫プロジェクト
 - ②女性が働きやすい環境整備

第2編 基本事業

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

当該事業の位置づけを示しています

<基本事業ページの見方について>

このページでは個別事業の評価ページの見方を紹介します。

基本事業① 若年者への結婚出産の啓発

事業名	高校生への「こころとからだについて」の出前授業の実施			
担当	企画財政部企画政策課、菊川病院			
事業概要	県の看護協会の出前授業を活用し、高校生に対し助産師から妊娠			
事業計画	計画	H27 △	H28 ◎	H29
	実績	○		
事業指標	指標	出前授業受講者数		
	目標	H26 (基準値)	H27	H28
	実績	—	—	87
平成 27 年度の課題	【小笠高校】 実施スケジュールや実施内容等について、細部を詰める必要がある。 【常葉菊川高校】 平成 29 年度以降の実施に向け、た 【南陵高校】 実施スケジュールや実施内容等につい			
平成 28 年度の取組み予定	【小笠高校】 静岡県看護協会の出前授業を を対象に実施予定。 【常葉菊川高校】 平成 29 年度以降の実施に向け、た 【南陵高校】 静岡県看護協会の出前授業を活用し、菊川病院の助産師が講師となつて今年度中 を対象に実施予定。			
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 50%	(1)菊川南陵高校にお 年度中に実施する 校及び った 高校及び、川高 平成 28 年 10 月 31 日時点での中間報告です。 内容は以下の通りです。 (1)平成 28 年度中に実施した内容及び実施予定の内容 (2)今年度の目標を達成するにあたっての課題 (3)来年度の事業計画概要 【進捗度】は今年度の事業計画に対する現在の進捗状況			

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

基本事業①

若年者への結婚出産の啓発

事業名	高校生への「こころとからだについて」の出前授業の実施						
担当	企画財政部企画政策課、菊川病院						
事業概要	県の看護協会の出前授業を活用し、高校生に対し助産師から妊娠・出産等についてセミナーを行う。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	◎	◎	◎	◎	
	実績	○					
事業指標	指標	出前授業受講者数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		—	350	350	350	600
	実績	—	—	87			
平成27年度の課題	<p>【小笠高校】 実施スケジュールや実施内容等について、細部を詰める必要がある。</p> <p>【常葉菊川高校】 平成29年度以降の実施に向け、協議・検討する。</p> <p>【南陵高校】 実施スケジュールや実施内容等について、細部を詰める必要がある。</p>						
平成28年度の取組み予定	<p>【小笠高校】 静岡県看護協会の出前授業を活用し、菊川病院の助産師が講師となり9月に1年生全員を対象に実施予定。</p> <p>【常葉菊川高校】 平成29年度以降の実施に向け、協議・検討する。</p> <p>【南陵高校】 静岡県看護協会の出前授業を活用し、菊川病院の助産師が講師となり7月に2年生全員を対象に実施予定。</p>						
平成28年度中間報告【進捗度】50%	<p>(1) 菊川南陵高校において出前授業を実施し87名が受講した。また、小笠高校及び常葉菊川高校でも今年度中に実施できる見込みである。(2) 当初の目標値は学年全体での実施を見込んだ設定であったが、高校及び病院との協議の結果、30人程度での対話形式による実施の方が、効果が見込めるという結論になったため、目標を達成するためには各校複数回出前授業を実施する必要がある。(3) 平成29年度は小笠高校及び常葉菊川高校で出前授業を実施する予定である。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

基本事業② 子育て支援体制の充実

事業名	認定こども園制度への取組み						
担当	教育文化部幼児教育課						
事業概要	保育園や幼稚園について、認定こども園の可能性を検討するとともに、必要な施設を認定こども園化していく。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	○	◎	◎	◎	
	実績	○					
事業指標	指標	認定こども園制度への取組み				単位	園数
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	H28年度に菊川市幼保施設整備計画(基本方針)を見直す中で目標値を設定する。			
	実績	0	0				
平成27年度の課題	菊川市幼保施設整備計画(基本方針)の見直しを行い、人口動態や市民ニーズの再分析結果を基に、幼保施設の再編を行う必要がある。また、待機児童解消の取組みとして、認定こども園化を検討していく。						
平成28年度の取組み予定	<p>おおぞら保育園の認定こども園化(平成29年4月～)に向けて、運営方法の検討、環境整備、設置完了届等の諸準備を進める。</p> <p>私立幼児施設については、各園の意向を聞き取り、認定こども園化を希望する園に対して速やかに認定こども園へ移行できるよう支援を行う。</p> <p>※菊川市立認定こども園 0園、私立認定こども園 1園(H28.4月現在)</p>						
平成28年度中間報告【進捗度】50%	<p>(1)おおぞら保育園については、緊急マニュアルの改正、職員組織や園則の検討を進め、関係条例を12月議会に上程する準備を行っている。議会終了後は、おおぞら保育園の認定こども園化を市民へ周知していく。幼稚園型認定こども園移行を予定している堀之内幼稚園とは、定員設定を含めた事前打合せを3回行っており、今後申請事務について進めていく。平成30年度に幼保連携型認定こども園へ移行する中央幼稚園については、園舎建設の打合せを県・法人と行い、建設等に係る補助金についても検討した。</p> <p>(2)次年度は利用希望者が本年度以上となることが見込まれるため、認定こども園化以外の対応策も取組む必要がある。(3)おおぞら認定こども園にかかる事業費、認定こども園へ移行する堀之内幼稚園分の給付費、菊川中央こども園園舎創設(改築)工事補助金を見込む。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

基本事業②

子育て支援体制の充実

事業名	一時保育等の利便性の向上						
担当	健康福祉部福祉課						
事業概要	市内保育園で実施しているリフレッシュ・一時保育について、利用者の利便性向上、施設側の受入管理体制の充実、効率的な受付事務の運用を目指す。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	◎	◎	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	リフレッシュ・一時保育の利用件数			単位	件	
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		2,040	2,040	2,100	2,150	2,200
	実績	1,996	2,195	1,050			
平成 27 年度の課題	<p>リフレッシュ・一時保育と保育所の役割について明確化する必要がある。</p> <p>申請様式の簡素化について引き続き検討する必要がある。</p> <p>平成 27 年度までは、市内全 11 保育園（牧之原保育園を含む）が、リフレッシュ・一時保育を実施したが、平成 28 年度からは 1 園（西方保育園）が受入を見合わせるため、受入枠を確保するため引き続き依頼する必要がある。</p>						
平成 28 年度の取組み予定	<p>保育所との役割分担の明確化、申請様式等の簡素化の検討、リフレッシュ・一時保育の受入依頼（西方保育園）を実施する。</p> <p>また、リフレッシュ・一時保育について受入できない保育園の情報を掲載する予定である子育てアプリの開発に伴い、テスト配信を実施する。</p>						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 50%	<p>(1) リフレッシュ・一時保育の受入を休止していた西方保育園について、再受入協議し、当園の理解と協力から 10 月より再受入することができた。市内各園に来年度の継続受入について依頼し、受入枠を確保していく。(2) 業務上保育園との関わりが少ないため、情報交換等が不足している。(3) 平成 29 年度も継続実施する。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

基本事業③

子育て世帯への経済的支援

事業名	妊娠出産時ホームヘルプサービスの利用補助						
担当	健康福祉部健康づくり課						
事業概要	産前産後の妊産婦の方が、家事及び育児を支援する事業者が提供するサービスを利用した場合に、その利用料の一部を補助する制度を策定する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	◎	◎	◎	◎	
	実績	○					
事業指標	指標	本事業の申請人数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		制度 策定	20	20	20	20
	実績	制度 無し	制度 策定	1			
平成27年度の課題	平成28年度から始まる新しい制度のため、より多くの方が利用できるよう、補助対象となる方たちに周知する必要がある。						
平成28年度の取組み予定	平成28年度から制度が開始されるため、広報紙を活用し制度の周知を図っていく。広報紙以外の広報として、妊娠届の際における制度紹介、妊婦の健康相談等の際における制度紹介、家事等支援サービスを実施する事業者への制度紹介を行う。 また、制度を運用する中で翌年度に向けた改善点等を探していく。						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 30%	(1)10月末での申請件数1件。 (2)サービスを必要としている方の把握や案内方法 (3)対象者に制度をアピールするとともに、今後は需要の検証も検討していく。 ・市内医療機関への本制度紹介チラシの配架 ・子育てアプリによるプッシュ通知 ・プレママパパスクールでのチラシ配付 など						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

基本事業③

子育て世帯への経済的支援

事業名	教育・保育施設の利用者負担への支援						
担当	教育文化部幼児教育課						
事業概要	「3人以上の子どもが持てる環境」づくりを目指し、多子世帯を対象とした教育・保育施設の利用者負担（保育料）への支援を行う。また、第2子、第3子を対象に実施されている保育料の減免について、条件となる兄弟の年齢枠の緩和による支援策を検討する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	◎	◎	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	多子世帯軽減制度の支援をうける世帯数			単位	世帯	
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		—	50	50	100	100
	実績	制度 無し	制度 検討	100			
平成27年度の課題	<p>市単独施策とした場合、市の負担が大きくなる。(年収・年齢制限を撤廃し、第3子以降を無償化した場合の一般財源は41,874千円の増となる)</p> <p>第2子・第3子を把握するためには、保育システムの改修が必要となる。(子ども子育て支援システム多子軽減判定シミュレーション)</p>						
平成28年度の取組み予定	<p>国の軽減制度に従い支援を開始する。また、国の軽減制度を拡大し、多子世帯全体を支援できるような施策の検討を前年に引き続き行う。施設型給付等の支援を受ける子どもの認定区分1号・2号・3号の対象人数の把握、支援に係る金額の計上、近隣市の支援状況の確認等を行い、施策案を関係機関と審議していく。</p>						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 70%	<p>(1)第3子無償化について、国制度の所得制限を上げた場合の1号・2号・3号それぞれの一般財源増額分を試算し、市単独施策実施の検討を行った。(2)2・3号については、児童数割合の高い階層区分を含むこととなるため、多子世帯軽減の支援を受ける対象世帯が増えることが見込まれる。(100世帯以上)</p> <p>(3)①市民税所得割額97,000円未満まで②169,000円未満まで③235,000円未満まで④所得制限完全撤廃の4つの階層区分ごとに検討を行っている。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

基本事業③

子育て世代への経済的支援

事業名	菊川市新生児出産祝金事業						
担当	健康福祉部福祉課						
事業概要	当市で生まれた第2子以降の新生児に対し、出産祝金を支給する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	第2子以降の出生数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		218	218	218	218	218
	実績	221	225	135			
平成27年度の課題	<p>本事業を出生率の向上や本市への定住促進につなげるため、より効果的な支給条件について検討する必要がある。</p> <p>支給を受けた方が5年以内に転出した場合には返還義務が発生するため、被支給者について追跡調査を行う必要がある。</p>						
平成28年度取組み予定	本事業を継続実施する中で、支給対象の条件について検討する。また、受給者の追跡調査を実施する。						
平成28年度中間報告【進捗度】 50%	<p>(1) 当該祝金の適切な給付(112件/13,650千円)に努め、追跡調査により転出された方に返還請求を行い、還付処理(1件100千円)を実施した。下半期も適切な給付に努める。(2) 引き続き市民課と連携を図り、出生情報を確認し、対象者を把握していく必要がある。また、5年定住要件について、申請時に詳しく案内していくことも必要となる。(3) 平成29年度も継続実施する。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

基本事業④ ニーズに合わせた子育て情報の発信

事業名	子育てアプリの開発						
担当	健康福祉部福祉課、健康づくり課						
事業概要	検診等の子育てに役立つ行政情報を発信するスマートフォン用アプリケーションを開発し、運用する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	○	◎	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	子育てアプリダウンロード件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		機能等 検討	アプリ 開発	300	600	1000
	実績	—	機能等 検討	アプリ 開発中			
平成27年度の課題	スマートフォン向けアプリケーションの開発に伴い、ターゲットである子育て世帯のニーズに合わせ、どのような機能を持たせ、どのような情報を発信するかについて、関係課等と引き続き連携、検討していく必要がある。						
平成28年度 の取組み予定	子育てアプリについて上記2課で引き続き検討していく。 アプリ開発事業の業務委託を9月頃発注し、平成29年2-3月頃に子育てアプリのテスト配信を実施する見込み。						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 40%	(1) 子育て関係課との庁内打合せや業者からの情報収集を実施した。当初見込んでいたものより条件の良いアプリがあり、再検討の必要が生じ、不測の時間を要したため進捗は遅れているが、発注準備に取り掛かっており、下半期は遅れを取り戻し、平成29年4月から運用を開始する。(2) 平成29年4月の運用開始に向け、どのように周知・啓発していくかを検討していく必要がある。(3) 平成29年度以降は、当該アプリの運用・内容更新を実施していく。						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

基本事業④ ニーズに合わせた子育て情報の発信

事業名	子育て支援に係るホームページ上での総合案内						
担当	総務部秘書広報課						
事業概要	子育て支援に係る情報をまとめ、効率的に情報を提供できるようにし、子育て世代への情報発信を強化する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	○	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	菊川ですくすく子育て応援サイト「きくすく」のアクセス数			単位	PV※	
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		ページ 作成	7,000	8,000	9,000	10,000
	実績	—	2,253	3,558			
平成27年度の課題	各課の情報を充実させ、常に最新の情報を提供できるようにする必要がある。						
平成28年度の取組み予定	子育て支援情報の充実及び子育てアプリとの連携を行う。 子育てアプリの公開にあわせて「きくすく」を再度PRする。						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 50%	(1)関係各課に情報の更新を依頼し、サイトの充実を図った。また、継続して情報更新を呼び掛けるとともに、健康福祉部が作成する子育て支援アプリとのリンク付を行う予定。 (2)10月末現在で3,558件のアクセスがあるが、目標を達成に向けてサイトの充実を図る必要がある。 (3)平成29年度の予算について、市ホームページと同一のサーバを利用するため、計上なし。						

※PV(Page Views)：ページビューとは、最も基本的なアクセス数の指標の一つで、Web ページが閲覧された回数を表す。ページ内で参照している画像など外部のファイルの数などには影響されず、Web ページを1画面開けば1ページビューと数える。

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

基本事業⑤ 教育環境の充実

事業名	ICT を活用した授業の推進						
担当	教育文化部学校教育課、教育総務課						
事業概要	市内全小中学校に ICT 機器を活用した授業を実施できる環境を整備するとともに、教員の ICT 活用能力を高め、授業での ICT 機器の活用を推進する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	「授業中に ICT を活用して指導することができる」と回答した教員の割合				単位	%
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	実績	92.5	94.3	H29にアンケート実施			
平成 27 年度の課題	<p>年度末の異動により、他市からの教員や若手教員が増加したため、ICT 機器の活用については各校で新たに研修を実施したり、市主催研修を利用することで、授業での活用を進めていく必要がある。</p> <p>また、各校に配布したタブレット型端末の活用について ICT 推進委員会で協議し、今後の本格導入に活かす必要がある。</p>						
平成 28 年度の取組み予定	<p>ICT 推進委員会の開催、ICT 活用授業「確かな学力」育成のための効果的な ICT 機器の活用研究指定校、菊川市情報教育モデルカリキュラム (H28.3 作成) を参考に情報教育 (情報モラル指導を含む) を進める、菊川市デジタル TV 活用事例集 (H23.9 作成) を参考にデジタル TV やデジタル教科書を効果的に活用し授業改善を行う、学校訪問や授業参観、授業研究等の機会を使って ICT を積極的に活用した授業を公開する、校内研修等において、市内の教員を講師として要請することができるようにする。</p>						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 60%	<p>(1) 第 1 回 ICT 推進委員会を 10 月に実施した。会の中で、情報モラルやカリキュラム、授業改善について協議を行った。今後の学校訪問や 12 月の研究指定校発表会、第 2 回の ICT 推進委員会で ICT 活用推進に向けた取組を実施できる見込みである。(2) 各校での推進は進んでいるが、昨年度と今年度で配備した児童生徒用 iPad や短焦点プロジェクタの活用推進に向けた取組が必要である。(3) 平成 29 年度は小笠東小学校で研究指定を実施する予定である。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 2 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち

基本事業① 地域資源を活かした交流の推進

事業名	交流促進ツアー、イベントへの支援						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	地域の特色、個性などの観光資源を活かした交流促進事業などに対し支援を行い、交流人口の増加、市の認知度の向上を図る。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	○	○	
	実績	◎					
事業指標	指標	市民力を活用したイベントの開催回数			単位	回	
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		2	2	2	2	2
	実績	0	2	2			
平成27年度の課題	「おんぱく」や「バル」については、平成27年度が初めての試みであったことから、開催までに時間を要した。2回目である本年度については、菊川市の魅力を更に知っていただく時期を検討し、実施できるように検討する必要がある。「朝市&フリーマーケット&グルメ」については、出展者数や来場者数も固定化されてきていることからマンネリ化が見受けられる。						
平成28年度の取組み予定	平成28年度については、菊川の特産や自然の良さなどをより知っていただくため、「おんぱく」を新茶の時期である5月からの開催を計画するとともに、「バル」についても同時期に行うことを検討する。 また、「朝市&フリーマーケット&グルメ」については、新たな出展者や客層を確保するために、その他のイベントとの同時開催を提案する。						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 80%	(1)きくがわおんぱくについては、5月14日～6月22日の40日間で開催した。プログラムの総開催数も前回の96回から101回になり、参加人数も約3920人と前回から増加するなど、おんぱくのイベント自体の認知度も向上してきている。6割以上が市内からの参加者である。参加者の91.5%の方が「とても満足・満足」と回答し、次回のおんぱくへの参加希望も90%を超えるなど、盛況であった。また、7月にはバルも開催し、地域資源や魅力の再発見・活用を図り、色々な視点で地域を見直すことができている。なお、市内には様々な企業などがあることから、幅広くパートナーを募るなど検討する。(2)菊川駅南商店街組合が行っている「朝市&フリーマーケット&グルメ」については、これまで奇数月の開催であったが、11月の開催を年末の需要を見込んだ12月に変更するなど来場者の確保に取り組んでいる。しかし、午後には来場者が減少し、出展者も撤収してしまう傾向があるため開催時間を検討する必要がある。						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 2 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち

基本事業①

地域資源を活かした交流の推進

事業名	地域資源を活かした集客促進						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	市にある地域資源の魅力を再発見・再認識するとともに、市内ガイドや観光地の案内看板設置、WiFi 環境など地域資源の活用を図る施設整備の検討を進める。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	△	△	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	※実施内容を検討中のため未定				単位	
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標	※実施内容を検討中のため未定 (H29 年度までに確定)					
	実績						
平成 27 年度の課題	<p>地域資源を周知・PR する対象を検討する必要がある。</p> <p>Wi-Fi の導入や多言語の案内看板設置について、必要である場所、効果的な場所の選定などについて、費用対効果も含め検討する必要がある。</p> <p>その他の地域資源を再確認するとともに、PR する方法を検討する必要がある。</p>						
平成 28 年度の取組み予定	<p>観光案内看板の状況を確認するなかで、どのような周知・PR を行うのか対象や場所・方法などについて検討を進める。</p> <p>Wi-Fi の導入について、場所や想定する利用者、費用対効果等について検討する。</p> <p>PR できる地域資源を再確認・検証する。</p> <p>補助金など活用できる制度の情報収集を進める。</p> <p>県の進めるDMO施策について検討する。</p>						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 50%	<p>(1)今年度については、菊川市の魅力発信事業の一つであるテーマトレインなどに採用された「しあわせのわ きくがわ」のデザインを活用し、菊川市の玄関口であるJR菊川駅前に看板を設置した。また、もう一つの玄関口である菊川IC前にも同様の看板を設置するように関係機関と調整を進めている。</p> <p>(3)ゆるキャラグランプリにおいて全国 14 位、県内 1 位となった本市のマスコットキャラクターきくのんの活躍を活かすため、モニュメントの製作を検討するなど様々な手法を考えながら市の情報発信・認知度向上を図る。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 2 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち

基本事業① 地域資源を活かした交流の推進

事業名	茶交流体験促進事業の実施						
担当	建設経済部茶業振興課						
事業概要	市で従来実施していたグリーンツーリズム事業を拡充し、茶や野菜等の各生産者と行政が協同して企画・運営を行う交流体験事業を実施し、菊川茶や市内特産物のPRと交流人口の増加を図る。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	本事業への市外からの来場者数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		500	550	600	650	700
	実績	—	486	315			
平成27年度の課題	<p>①事業を実施する生産者及び団体の発掘、育成 生産者は集客や販路を拡大することが不慣れである。しかし、これからは自らが企画、運営し販路拡大を図れるため、実施団体の発掘や育成が必要である。</p> <p>②実施可能な企画作成 計画した9事業のうち3事業は集客が見込めないとのことでツアーを開催することができなかった。今後はツアー実施可能な企画提案を進めるか、またはツアー会社を通さず、自らが集客できるよう広報活動が必要である。</p>						
平成28年度取組み予定	<p>①来場者数拡大のため、新たな企画を実施する。 年6回事業を実施する。(拡充事業3つ、新規事業3つを予定)お茶を使った体験を5回、その他野菜を使った体験を1回。基本的にはツアー会社を通さずに実施する予定。 また、年間に複数回開催できる企画や、天竜浜名湖線とのコラボイベントも実施する予定。</p> <p>②企画運営できる生産者及び団体の発掘、育成を図るため、生産者へ事業説明をし事業を展開する。</p> <p>③年間シリーズ化できる事業が実施可能か生産者等と協議する。</p>						
平成28年度中間報告【進捗度】 80%	<p>(1)現在5回実施しており、来場者524名、内市外315名を招へいすることができた。事業実施は計画より早期に実施できており、また2月～3月に2事業を実施する計画である。</p> <p>(2)予定より市外参加者が下回っているため、市外者の方を招へいできるよう事業計画する。</p> <p>(3)平成28年度の実施結果を踏まえ、集客の見込める事業を計画・実施する。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち
基本施策 2 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち

基本事業②

駅周辺のまちづくりの推進

事業名	菊川駅北口及び駅北地域の将来構想の策定						
担当	建設経済部都市計画課						
事業概要	菊川駅北口の新設と駅北周辺の整備計画について、将来構想案を策定する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	△	△	△	○	
	実績	△					
事業指標	指標	事業スケジュール(案)を作成する				単位	—
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		庁内検討	将来構想 策定	地元説明	地元説明	事業スケ ジュール (案)作成
	実績	—	庁内検討	策定中			
平成 27 年度の 課題	<p>駅前地域においては、企業の需要調査を行うなど、実現性の高い構想にしていく必要がある。</p> <p>西方地域は、様々な構想が想定されるため、開発と保全のバランスを考慮し、駅北地域だけではなく市全体の今後のまちづくりを踏まえ、検討していく必要がある。</p> <p>また、市民理解を得るため、市民ニーズや意見を確認する機会を設け、策定していく必要がある。</p>						
平成 28 年度の 取組み予定	<p><駅北整備構想の策定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業部会及び庁内検討委員会による検討 ・市民意向調査 ・需要調査 ・整備効果の分析 						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 60%	<p>(1)市民ニーズの調査として、市民アンケート及びワークショップを開催した。また、需要調査として企業ヒアリングを6社行った。アンケート及び企業ヒアリングの結果を踏まえ、庁内検討委員会等で検討を行い3月末に構想案が完成する見込みである。(2)当初の計画通り事業は実施できている。(3)平成29年度は構想の実現に向けた整備計画を検討する予定である。</p>						

基本事業① 知名度向上戦略の展開

事業名	菊川市魅力発信事業						
担当	総務部秘書広報課、企画財政部企画政策課						
事業概要	様々な手法(ランディングページ、魅力紹介冊子の作成、テーマトレイン等)による菊川市の認知度向上に向けた事業を実施する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	ホームページの魅力紹介ページのアクセス数			単位	PV	
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		ページ作成	40,000	60,000	80,000	100,000
	実績	—	2,379	6,412			
平成27年度の課題	市の実施する事業を市民に周知できていない、また市民に菊川市の魅力を再認識してもらい、市民からの口コミ情報発信を増やす必要があるため、市内へも内容を発信する必要がある。また、ランディングページを閲覧してもらうための情報発信が不足している。						
平成28年度取組み予定	市の魅力を市内外に向けて発信するため、ポスターを製作し、公民館や公会堂、コンビニで掲出する。テーマトレインについては、実施時期をテレビCMの放送時期(8月を予定)と合わせ、相乗効果を狙う。						
平成28年度中間報告【進捗度】 100%	(1)テーマトレイン、インターネットを活用した広告(Web広告)、市PRポスターの掲出を実施した。(2)8月のアクセス件数は4,334件で、事業実施前と比較すると10倍以上あったが、10月末現在の総アクセス数は6,412件で、年間の目標を達成するためには更なる広報が必要。(3)平成29年度は、小冊子(しあわせのわきくがわ)の増刷、テーマトレイン、インターネットを活用した広告(Web広告)を予定。						

基本事業① 知名度向上戦略の展開

事業名	メディアを利用した情報発信						
担当	総務部秘書広報課						
事業概要	菊川市の認知度向上のための効果的な広報活動として、TVコマーシャル作成し、放送する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	市ホームページのアクセス数				単位	PV
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		290,000	292,000	294,000	297,000	300,000
	実績	269,373	290,335	197,472			
平成27年度の課題	放送回数が22回のため、CMを見る機会として少ない。限られた予算の中、視聴率の良い番組に合わせた回数設定をする必要がある。						
平成28年度の取組み予定	平成27年度に製作したCM(第1弾及び第2弾)を放送する。製作費をかけず放送費分を増やすことで放送回数を増やす。 CMの放送は県内に限られるため、8月の帰省時期に合わせた放送を計画する。 CMを放送することで、知名度向上を図り、市ホームページへのアクセス数の増加を目指す。						
平成28年度中間報告【進捗度】 100%	(1)昨年度制作した菊川市の魅力発信CMを8月6日から8月15日に、SBS静岡放送で25回、テレビ静岡で7回、合計32回放送し、菊川市の知名度向上を図った。 (2)市ホームページのアクセス数は、10月末現在で197,472件で、目標を達成する見込み。 (3)平成29年度は、菊川市プロモーションビデオの制作を予定。						

基本事業① 知名度向上戦略の展開

事業名	菊川の教育 親子見学ツアーの検討						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	首都圏の親子などに菊川市を第2のふるさととして認知、訪問してもらうため、農業体験や地域住民とのふれあいの場を提供する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	○	◎	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	農学芸スクール事業長期休暇企画参加者数			単位	人	
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		—	80	80	120	120
	実績	—	—	50			
平成27年度の課題	平成28年度事業は、地方創生加速化交付金により事業費を賄うことができるが、平成29年度以降の財源は未定となっている。そのため、運営主体の自立化に向けた法人化準備や財源確保の方策を検討していく必要がある。						
平成28年度の取組み予定	<p>「農学芸スクール事業 Agri Arts & Science School」業務委託を発注、進捗管理し、以下の業務を完了させる。</p> <p>①カリキュラムの構築 専門家や生産者等の協力を得ながら1年間のカリキュラムを策定する。</p> <p>②企画の運営 主に首都圏の児童・生徒親子を対象とした複数泊での長期休暇企画を運営する。</p> <p>③自立化に向けた準備 継続的な事業とするため、カリキュラム及び地域で運営する体制を構築するため法人の立ち上げ準備を進める。</p> <p>④広報活動の実施 事業活動等を県内、首都圏等へ積極的に発信していく。</p>						
平成28年度中間報告【進捗度】50%	<p>(1) ㈱エムスクエア・ラボと5月2日付で業務委託契約を締結した。カリキュラム策定会議を10月末までに5回開催し、今後も月1回開催予定。通常企画は、6月から募集を開始し、今後も毎週日曜日を中心に開催していく。長期休暇企画は、8月に県外親子を対象とした農業体験ツアーを開催し、12月に中学生を対象としたツアーを企画している。自立化準備は、法人の形態等について検討を行っている。</p> <p>(2) 長期休暇企画参加者数について、夏休みに50人が参加、冬休みの企画を30人で募集をするが、定員に達するかが課題。(3) 3年後の自立化を目指し、平成29年度も引き続き実施予定。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 1 郷土愛を育むまち

基本事業① 若者の郷土愛を育む

事業名	ふるさと志向力を育むキャリア教育						
担当	教育文化部社会教育課						
事業概要	市内中学校において企業、団体、官公署がブースを設置し、生徒たちが興味・関心のあるブースで講演を聞く、キャリア教育事業を実施する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	事後アンケート「大人になっても菊川市に住み続けたい」と思う生徒の割合				単位	%
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
	実績	—	24.5	77.2			
平成 27 年度の課題	<p>本事業は、中学校の教育課程の中に組み込まれており、各学校との連絡調整が必要である。学校からの希望に基づき日程や参加企業・団体・官公署を決定し、社会教育課から本事業に参加いただけるよう依頼する。次年度も継続して参加いただけるよう依頼することや、新たに発掘することも必要である。</p> <p>社会教育課では、学校支援地域本部で本事業を実施しているが、学校支援ボランティアや地域住民等にも関心をもっていただき本事業へ参画していただくことや、学校側も積極的に受け入れる体制を取ることで、学校、家庭、地域との連携強化を推進することが必要である。</p>						
平成 28 年度の取組み予定	<p>事前学習：出前行政講座「菊川市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」</p> <p>ふるさと志向力を育むキャリア教育：平成 28 年 5 月 9 日 菊川西中学校(12 社)、5 月 10 日 岳洋中学校(6 社)、6 月 17 日 菊川東中学校(11 社)</p>						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 75%	<p>(1)生徒に事後アンケートを実施した結果、本事業の数値目標は昨年度と比較して大幅にアップし、成果を得られたと感じた。学校教育課及び学校担当者と検討会を実施し、本年度の実施方法が学校の意図する内容と合致していると評価を得た。今後は来年度に向け、関係各課と意見交換等を行う。(2)年度当初の開催時期であるため、前年度から企業等へ訪問し参加決定をする必要がある。(3)学校の希望日程や業種を受け同様の内容で実施。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 1 郷土愛を育むまち

基本事業① 若者の郷土愛を育む

事業名	高校生ふるさとセミナー						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	高校と連携し、高校生に市の抱える課題や今後の展望について講義をし、問題意識を持ってもらうと共に地元への愛着を持ってもらう。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	◎	◎	◎	◎	
	実績	○					
事業指標	指標	ふるさとセミナー参加者数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		—	30	60	90	120
	実績	—	—	39			
平成 27 年度の課題	<p>【小笠高校】 セミナーの開催日時及び内容等詳細について検討する必要がある。また、今後の対象生徒数拡大に向けて検討する必要がある。</p> <p>【常葉菊川高校】 課題研究講座に本事業を組み込んでもらうよう協議する。</p> <p>【南陵高校】 学校側の職員数等により本事業の実施が厳しい状況となっているため、実施方法等を検討する必要がある。</p>						
平成 28 年度の取組み予定	<p>【小笠高校】 課題研究授業の中で、平成 28 年 5 月に本事業を実施、平成 29 年 1 月に課題研究授業の成果発表を常葉菊川高校と共同で開催。</p> <p>【常葉菊川高校】 高校側から依頼があった場合は本事業を実施する。翌年度に本事業を実施できるよう協議する。課題研究の成果発表は小笠高校と共同開催。</p> <p>【南陵高校】 引き続き本事業の実施に向け協議・検討を進める。</p>						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 50%	<p>(1)小笠高校及び常葉菊川高校においてふるさとセミナーを実施した。南陵高校については、学校側の体制が整っていないため、検討は行わなかった。(2)今年度の目標は達成したが、来年 1 月に高校生によるまちづくりプレゼンテーション大会が予定されており、当該大会を実施するために関係者等と協議する必要がある。(3)平成 29 年度は小笠高校及び常葉菊川高校で引き続き実施する予定である。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 2 「働く場」と「出会い」があるまち

基本事業① 新企業の進出促進・創業の支援

事業名	企業誘致に向けた取り組みの推進						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	市内における雇用創出を図るため、企業誘致を推進する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	事業所・企業等の新規立地件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		—	2	2	2	2
	実績	—	—	1			
平成 27 年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●企業導入用地 <ul style="list-style-type: none"> ・当市では企業導入に有力な工業団地に空きがないため、市内における民有遊休地等の情報を集め、発信していく必要がある。 ●企業誘致・操業支援（補助）制度の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな企業導入、既存企業の更なる設備投資を促進するため、既存の補助制度の見直しが必要である。 						
平成 28 年度の取組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ●企業訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業訪問による情報交換、操業支援の実施。 ・市外（県外）企業訪問による新たな企業誘致に関する情報交換の実施。 ●遊休地情報の収集、発信 <ul style="list-style-type: none"> ・企業導入のための遊休地情報の収集、更新。 ・金融機関、不動産業者等への遊休地情報発信。 						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 50%	<p>(1) 市内外企業訪問は予定どおり実施（市内 43 社。県外 2 社）し、情報交換や企業支援を行った。遊休地情報の収集・更新・発信に努め、関係事業者への配布を行った。進出希望事業者への相談対応により、平成 29 年度中の操業開始が 1 社決定した。</p> <p>(2) 現在誘致に関して協議継続中の企業もあり、慎重かつ積極的な対応が必要である。移転希望の事業者が何社もあり、留置に向けた有力な遊休地の紹介や新たな造成地の検討が必要である。</p> <p>(3) 進出企業への補助。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 2 「働く場」と「出会い」があるまち

基本事業①

新企業の進出促進・創業の支援

事業名	創業の支援						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	菊川市と創業支援機関（商工会、金融機関、JA等）が連携し、地域における創業者を支援することで、地域の活性化、雇用の確保を目指す。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	○	◎	◎	◎	◎	
	実績	○					
事業指標	指標	市内創業支援者数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		計画 策定	125	130	135	140
	実績	計画 なし	計画 策定	44			
平成27年度の課題	地域経済の活性化（定住人口の増、雇用創出）を図るためには、既存企業の支援に加え、新たな創業への支援が必要とされる。地域の創業を促進するためには、菊川市、商工会、市内金融機関、遠州夢咲農業協同組合等が連携し、個々の機関が有する能力を組織的に集約する必要がある。						
平成28年度の取組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・菊川市主催、創業支援セミナーの開催。 ・創業希望者から相談対応。 ●創業支援機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・市内創業支援機関等との意見、情報交換会の実施。 ●情報収集、発信 <ul style="list-style-type: none"> ・市内創業支援機関等が関わる創業支援事業の情報発信。 						
平成28年度中間報告【進捗度】 50%	<p>(1) 創業相談対応、創業支援機関との意見交換を実施した。商工会主催の創業塾開催支援を行い、市セミナーを12月開催に向けて調整している。市内金融機関との協働によるセミナーを開催した。</p> <p>(2) 市内創業支援者数が10月末現在44名であり、目標値を下回っている。相談窓口や支援事業のPRを積極的に行い、創業希望者の発掘及び支援が必要である。</p> <p>(3) 創業支援セミナーの実施。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 2 「働く場」と「出会い」があるまち

基本事業②

U・Iターン者、女性、高齢者にむけた多様な就労環境の創出

事業名	若者・女性・高齢者の就業促進及び就労環境の向上						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	就労支援機関（ハローワーク等）との事業連携や情報交換、また企業への啓発活動により、若者・女性・高齢者の就業促進及び就労環境の向上を図る。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	女性のおしごと案内所「なでしこワーク」 年間来場者数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		開設	200	210	220	230
	実績	—	94(5ヵ月)	69			
平成27年度の課題	女性を対象とした就労支援窓口については、今後も利用者数の増加を促すため、事業内容の検証による利便性の向上を図る必要がある。また、若者・高齢者の就労支援については、ハローワーク等の支援機関との意見交換による手法の検討が必要である。						
平成28年度の取組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・女性のおしごと案内所「なでしこワーク」開設（毎月1回）。 ・女性の就労就業支援事業（セミナー、講座等）の実施。 ・高齢者向け求人情報の発信。 ●支援機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業の実施、改善を図るため、ハローワークとの情報交換を行う。 						
平成28年度中間報告【進捗度】 50%	<p>(1) 女性向け就労支援事業（なでしこワーク及び就労就業支援事業）は順調に進捗している。高齢者向け支援としてハローワークからの提供により求人情報（高齢者向け）を毎月配架している。就労支援の改善に向けて引き続きハローワークとの意見交換等を行う。</p> <p>(2) より多くの支援対象者の参加を募るため、今後も事業のPRが必要である。また、次年度以降に向けての求められる支援事業展開の検討が必要である。</p> <p>(3) 女性就労就業支援事業の実施。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 2 「働く場」と「出会い」があるまち

基本事業②

U・Iターン者、女性、高齢者にむけた多様な就労環境の創出

事業名	U・Iターン者の就業促進と人材育成支援						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	菊川市への移住定住に不可欠である「働く場」の情報発信により、U・Iターンの推進し、市内企業と人とのマッチング支援を行うとともに、人材の確保・育成に繋げる。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	◎	◎	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	大学等と連携した企業へのインターンシップ支援実施数				単位	社
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		—	1	1	2	2
	実績	—	—	0			
平成 27 年度の課題	人口流出による労働者不足への対応、活力ある地域づくり実現のためには有効な UIJ ターン促進事業の展開により、学生を中心とした UIJ ターン就職先の確保及び地元企業の人材確保を図ることが必要である。						
平成 28 年度の取組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援団体への事業費補助。 ・就労支援団体が行う UIJ ターン事業への支援（情報発信等）。 ●大学等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・大学等との連携による企業へのインターンシップ事業支援。 						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 40%	<p>(1) 就労支援団体への事業費補助及び情報発信支援を行った。</p> <p>(2) 大学が開催する説明会には参加したが、その後、UIJ ターン事業への支援及び大学との連携について具体的な取組がされていないため、情報収集や交換により積極的な支援等が必要である。</p> <p>(3) 引き続き就労支援団体との連携・支援、情報交換を行う。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 2 「働く場」と「出会い」があるまち

基本事業②

U・Iターン者、女性、高齢者にむけた多様な就労環境の創出

事業名	就業支援を含む奨学金制度の検討						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	市と地元産業界が出捐する基金を造成し、人口流出のタイミングである大学進学時と卒業後の最初の就職時に働き掛ける奨学金制度を創設することにより、地域課題の解決や産業を支える人材を確保する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	○	◎	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	本市独自の奨学金制度を運営する財団法人の数				単位	法人
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		—	—	1	1	1
	実績	—	—	検討中			
平成 27 年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 基金財源を確保し、財団法人による自立的な運営が可能な奨学金制度を構築すること。 若者のリターンにつながるよう企業との連携方法（基金への出捐や就職受入れ等）を制度内に組み込むこと。 制度構築事務に係る財源の確保。 						
平成 28 年度の取組み予定	<p>平成 29 年度からの構築事業実施を目標に、制度設計の手法の検討を実施する。</p> <p>具体的には、先進事例創設者を招聘し金融機関と協力し研究を進めるとともに、必要に応じ先進地視察を実施する。</p> <p>必要に応じて補正予算を確保し、平成 29 年 2 月までに平成 29 年度からの取り組みの方向性を明らかにする。</p>						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 50%	<p>(1) 国の新たな奨学金制度や国内の先進事例についての情報収集を実施した。また、長年奨学金制度を運営している静岡市の担当者への聞き取りを実施した。今後も情報収集や県内自治体への聞き取りを行い、年度末までに研究結果の取りまとめ・報告を行う。(2) 現在、奨学金制度を運営する財団法人の設立予定等はない。国においても新たな奨学金制度について検討が進められているなど、今後大きな制度変更が予想されるため、取り組みの方向性を定めていくことができるかが課題。(3) 国の制度設計によっては市独自で奨学金制度を設ける効果が薄くなるため、他の手法により基本目標を達成することも視野に入れ、検討をすすめる。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 2 「働く場」と「出会い」があるまち

基本事業③ 婚活支援

事業名	婚活支援イベント						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	定住及び少子化対策の第一段階である結婚への支援を目的とする婚活パーティーを実施する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	婚活支援イベントにおけるマッチングしたカップル数				単位	数
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		6	6	6	6	6
	実績	—	10	11/23 開催予定			
平成 27 年度の課題	<p>マッチングしたカップル数は目標 6 組に対して 10 組と目標をクリアし、婚姻数の増加につながる成果があったと考える。一方で、追跡調査の結果、マッチングしたカップルで正式にお付き合いしているカップルは 3 組となっており（平成 28 年 2 月現在）、基本施策の指標である婚姻数を増加させるためには、マッチングしたカップルに長くお付き合いしてもらえるような新たな取り組みをしていく必要がある。</p> <p>また、菊川市として、例年同時期に婚活支援イベントを継続的に開催することで、「出会いがあるまち」のイメージ定着を図っていく必要がある。</p>						
平成 28 年度の取組み予定	<p>引き続き「アエルで出逢える 恋仲パーティー」を継続開催し、婚活イベントとして事業の定着を図る。課題を踏まえた改善点としては、マッチング後の付き合い方について、マッチングしたカップルにパーソナリティーからアドバイスをする時間を設け、上手く付き合いができるように図り、婚姻数の増加につなげる。</p>						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 50%	<p>(1) 11 月 23 日の事業実施に向けて準備を進めている。5 月に㈱SBS プロモーションと契約を行い、その後、定期的にポスター及びイベント内容等について、協議を行った。参加者の募集については 9 月 26 日から開始しており、11 月 16 日まで行う予定である。(2) マッチング数を増やすため、市内外の対象者へ事業の PR を行い、参加者定員確保を行う必要がある。(3) 平成 29 年度も継続して事業実施していく方針。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 2 「働く場」と「出会い」があるまち

基本事業③ 婚活支援

事業名	同窓会への補助事業						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	定住及び少子化対策の第一段階である結婚への支援を目的とし市内で開催される同窓会に係る費用を一部助成する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	○	◎	◎	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	同窓会補助事業（代替事業）の申請件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	平成 28 年度に検討し決定する。			
	実績	—	—				
平成 27 年度の課題	本市では少子化対策の第一段階である結婚への支援を目的とした補助事業を考えているため、同窓会の定義付けや補助対象者の考え方、補助対象経費の設定についてなど課題が多く、また事業指標の設定についても研究、検討を行う必要がある。						
平成 28 年度の取組み予定	平成 28 年度から新たに同窓会補助事業を実施する自治体があるため、実績や効果等の聞き取りなど、他自治体の事例研究も継続して行い、平成 29 年度の事業実施に向けて検討を進める。						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 25%	<p>(1) 他自治体事例研究を行った。全国で他自治体を実施している同窓会補助事業及び県内自治体で実施している婚姻数増加を図ることを目的とした事業について電話でヒアリングを行い、それを基に同窓会補助事業に対する需要や予想される効果について研究を行った。(2) 婚姻数の増加を目的とした同窓会補助事業を行うに当たり、申請件数を伸ばすため、対象となる同窓会について開催しやすい基準とする必要がある。(3) 今年度から県内において同窓会補助事業を開始した自治体があるため、実績等を引き続き注視し、県外自治体の同窓会補助事業実施状況も勘案しながら補助要綱を策定する。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策3 アクセスの良さを活かした住環境の整備

基本事業① 子育て世代や若者の定住促進

事業名	空き家対策事業の推進(特定空き家対策事業)						
担当	建設経済部都市計画課						
事業概要	適切な管理が行われていない危険な特定空家を排除し、住環境の安全安心を確保する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	◎	◎	◎	◎	
	実績	○					
事業指標	指標	空き家相談件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		—	10	10	10	10
	実績	—	—	48			
平成27年度の課題	平成27年度は、制度を制定することを目標にし策定したが、本制度の周知については、空家等の対策にもなる「菊川市若者世帯定住促進補助制度」も同様に、あまり検討されていない。このことから、至急周知方法等を検討する必要がある。また、市内の空家現状が把握されていないため、把握方法の検討及び空き家の現状把握実施が必要である。						
平成28年度の取組み予定	平成27年度に策定した「菊川市空家等対策計画」の周知を徹底するとともに、空家の現状把握を行う。 【周知】市ホームページへの掲載、広報菊川5月号に特集ページ、連合自治会定例会(5月)にて制度周知を図る。 【調査】空家の現状把握として、本年度は基礎調査を実施する。(戸建住宅のみ)						
平成28年度中間報告【進捗度】60%	(1)市ホームページは4月から菊川市空家等対策計画を掲載、広報菊川5月号に特集「菊川市の空家対策STOP! 空き家」を掲載、連合自治会定例会(5/6)での説明を行い周知を図った。この結果、10月末までに市相談窓口への相談件数は38件を受付、県との合同の「空家ワンストップ相談会(7/30)」を実施し、10件の相談を受付。現状把握については、現在関係部署との調整を終え基礎調査を進めている。(2)相談件数の目標は本年度10件であったが、周知に伴い48件の相談を受付、目標は達成されている。(3)今年度と同様に、市民への周知、相談窓口の設置及び説明会を実施する。						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標2 贅沢な自然環境

「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策3 アクセスの良さを活かした住環境の整備

基本事業①

子育て世代や若者の定住促進

事業名	空き家対策事業の推進(空き家の利活用)						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	市外からの移住を考えている方の参考となるよう、空き家等の不動産情報について提供する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	◎	◎	◎	◎	
	実績	○					
事業指標	指標	市HPに掲載する空き家等情報件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		—	5	10	15	20
	実績	—	—	0			
平成27年度の課題	<p>移住定住推進施策として、空き家等住居情報の提供は必須と考えられる。しかし、現在市が保有する利活用できる空き家等の情報はなく、宅建業者等からの情報提供等も受けていない。そのため、市ホームページ等への情報掲載や、移住相談の際には近隣の不動産業者を紹介し、相談者自ら情報を集めてもらっているのが現状である。</p> <p>空き家バンクについては、開設するニーズの把握、開設準備、開設した際の情報の掘り起し、登録物件の確認、職員の事務負担など課題が多く、新たな方向での空き家情報の提供を考える必要がある。</p>						
平成28年度の取組み予定	<p>市として事務負担の大きい空き家バンクの開設ではなく、市内宅建業者等が持つ情報を活用することを原則に宅建協会と協議を進め、本年度中に空き家等不動産情報へのリンクページを開設する。</p>						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 50%	<p>(1) 空き家情報提供に向け、県や近隣自治体への聞き取り、静岡県宅建協会との協議を行った。宅建業法等の問題もあり、現状では民間の不動産サイトを活用した情報提供のみを行うこととし、市ホームページに情報提供ページを作成・公開した。今後は、県が進める総合的な空き家情報提供システムの検討状況について情報収集するとともに、市内不動産業者との意見交換等を実施し、より有効な情報提供方法について検討を進める。(2) 民間不動産サイトに掲載された空き家情報はあるが、市が独自に収集した空き家情報件数はない。今後どのように収集、掲載していくかが課題。(3) 引き続き検討を進める。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境

「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策 3 アクセスの良さを活かした住環境の整備

基本事業①

子育て世代や若者の定住促進

事業名	菊川市住宅取得補助制度						
担当	建設経済部都市計画課						
事業概要	適切な管理が行われていない危険な特定空き家を排除し、住環境の安全安心を確保する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	◎	◎	◎	◎	
	実績	○					
事業指標	指標	若者世帯定住促進補助制度利用件数			単位	件	
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		制度策定	60	60	60	60
	実績	—	制度策定	5			
平成 27 年度の課題	平成 27 年度は制度を策定することを目標にし、策定が完了したが、本制度の周知についてはあまり検討できていない。平成 28 年 4 月 1 日からの制度であるため、至急周知方法等を検討し、周知する必要がある。						
平成 28 年度の取組み予定	<p>平成 27 年度に策定した「若者世帯定住促進補助制度」の周知を徹底するとともに、適切な業務を行い、定住人口の増加を図る。</p> <p>【周知】作成したチラシを各関係機関に配布し、制度周知と活用を促す。(県・金融機関・企業・不動産関係など) また、市ホームページへの掲載、広報菊川 5 月号に特集ページ、市長定例記者会見(4 月)、連合自治会定例会(5 月)にて制度周知を図る。</p> <p>【申請受付】申請受付は、随時行う。</p>						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 70%	<p>(1) 市長定例会(4/20)、連合自治会定例会(5/6)、建築士会地元意見交換会(7/8)、宅建協会中遠支所不動産研修会(7/22)、での説明、市ホームページへや広報菊川 5 月号に特集を掲載、チラシについては、県、市内金融機関、西部地区宅建協会会員など、約 2,000 通を配架。(2) 条件により、10 月末までは中古住宅購入の 5 件と低い。下半期は、新築工事案件の問い合わせがあるため増加が見込まれるが、引き続き周知を図っていく。(3) 平成 29 年度は補助金交付 94 件を見込み、周知を行う。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策3 アクセスの良さを活かした住環境の整備

基本事業① 子育て世代や若者の定住促進

事業名	土地区画整理事業(住宅地の提供と生活環境整備)						
担当	建設経済部都市計画課						
事業概要	生活基盤を整備する土地区画整理事業地区内の調査を実施する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	○	○	○	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	都市計画道路整備延長/都市計画道路総延長(赤土地内4路線)整備率				単位	%
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		17	17	17	17	17
	実績	17	17	17			
平成27年度の課題	<p>本地区の調査区域は80haであり、用途区分によっては住宅系から工業系まで様々である。</p> <p>住居系の用途に供されている区域では、狭あい道路のため生活道路の幅員が狭く防災的にも十分な環境ではない。また、工業系の用途区域によっては現況が農地であり接道等が未整備のため土地利用が進んでいない現状である。</p> <p>このことから、本地区のまちづくりの手法については、地区計画による手法や土地区画整理などによるまちづくり手法の検討が必要である。</p> <p>その他においても、過去の降雨により浸水した経緯もあり浸水対策の検討を併せて行っていく必要がある。</p>						
平成28年度 の取組み予定	<p>赤土地地区の区画整理検討地区内における事前調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治水詳細検討業務 79.6ha ・地形測量業務 41.8ha ・地元意向調査業務 79.6ha ・関係機関事前協議 1式 						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 70%	<p>(1)地元代表者との協議を5月に実施し、昨年までの調査内容の報告を行い併せて今年度の事業内容を説明した。10月末までに、治水検討・地形測量・地元意向調査の業務委託を発注し、現在調査検討を行っている。(2)事業を推進することに先立ち、解決しなければならない課題もあるため、今後庁内で今後協議調整を図っていく必要がある。(3)当該地区の治水に係る調査を実施する。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 4 自己実現できるまちづくり

基本事業① 若者・女性・高齢者が活躍できる地域づくり

事業名	菊川市次世代農業推進事業(雇用)						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	地域の担い手へ農地を集積し、機能性に優れた高付加価値野菜を生産するとともに、市民農園や直売所・加工所を併せて整備することで、地域農業の振興拠点の創出を図る。また、その振興拠点において雇用を創出する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	△	○	○	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	内陸フロンティア交流エリアにおける雇用の確保				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		—	—	—	—	3
	実績	—	—	—			
平成27年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組み法人の設立。 ・ アドバイザーやコンサル等の選定および財源確保。 ・ 交流エリアの事業計画および積算。 ・ 交流エリアの測量、設計、造成、施設建設等における財源確保。 ・ 幼保冠水対策の早期決定。 ・ 次世代、食育エリアの幼保冠水対策を踏まえた構想の立て直し。 ・ 次世代、食育エリアの事業計画および積算。 ・ 測量、設計、造成、施設建設等における財源確保。 						
平成28年度の取組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組み法人の早期設立。 ・ アドバイザーやコンサル等の選定および財源確保。 ・ 3エリアの内、交流エリアの事業計画および測量、設計。 						
平成28年度中間報告【進捗度】 40%	<p>(1) 検討会実施 実施日 5/16. 6/9. 6/13. 6/25. 7/11. 7/12. 8/2. 9/2. 9/6. 9/15. 10/6. 10/20. 10/26 法人を設立 設立日 6/13 交流エリア計画決定(~H31) 測量設計変更 H28→H29 (2) 榊つきの丘との雇用における検討 (3) ○企画立案: 内陸フロンティア、アグリ姫、地域特産物、グリーンツーリズム等を絡め内陸フロンティアを核とした市農業と定住及び交流人口増を図る今後の展開の企画立案を行う。○次世代農業推進区域内の交流エリアの測量・調査、内陸フロンティアに指定されたことによる次世代農業推進区域内の交流エリアにおける農地、造成のため測量・調査を実施する。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 4 自己実現できるまちづくり

基本事業① 若者・女性・高齢者が活躍できる地域づくり

事業名	菊川市市民協働センターの設置						
担当	総務部地域支援課						
事業概要	市民活動・地域活動のさらなる活性化と市民協働の推進を目指して、中間支援センターを設置する。センターの運営については、市民目線の柔軟な発想による効果的な運営を図るため、NPO法人等を運営主体とした、「公設民営」方式とする。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	○	◎	◎	◎	◎	
	実績	○					
事業指標	指標	市民協働センターへの年間相談件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		センター 開設	40	45	50	55
	実績	—	センター 開設	318			
平成 27 年度の課題	市民協働センターを広く知っていただき活用してもらうため周知・PRする必要がある。						
平成 28 年度の取組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ①市民活動団体等の支援…相談対応、NPO 法人設立支援 ②市民協働を実践する人材の育成…講座の開催 ③情報収集及び提供…HP・SNS 作成及び活用、センターだよりの発行、市民活動ガイドブックの発行 ④企業の社会貢献活動の促進…企業訪問及び相談会の実施、CSR セミナーの開催 ⑤市民活動団体等のネットワークの構築…NPO 交流会及び中高生 NPO 体験セミナーの開催 						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 50%	<p>(1)4 月 15 日に市民協働センターを設置し、①相談窓口による市民活動団体等の支援、②講座の開催による人材育成、③HP の開設、センターだよりの発行による情報収集・発信、④企業訪問等による企業の社会貢献活動の促進、⑤NPO 交流会等の開催による市民活動団体等のネットワーク構築を行った。今後も引き続き上記①～⑤の活動を継続していく予定である。(2) 相談件数は 4 月～9 月末現在の時点で 318 件と年間目標を大幅に上回っている。(3) 平成 29 年度も上記①～⑤の活動を実施する予定である。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標 2 贅沢な自然環境
「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち
基本施策 4 自己実現できるまちづくり

基本事業②

健康寿命の延伸

事業名	+10でロコモ予防～高齢者への介護予防等の推進～						
担当	健康福祉部長寿介護課						
事業概要	ロコモティブシンドロームを予防し、健康のための一歩を踏み出すために、市民向け講演会・教室を開催し、市民の健康活動を支援する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	△	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	教室終了後の新規自主グループ数			単位	グループ	
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		1	1	1	1	1
	実績	—	2	0			
平成27年度の課題	予防教室への参加は計画数をほぼ満たしたため、今後はそれ以外の予防事業について検討する必要がある。						
平成28年度 の取組み予定	<p>前年度の事業同様のロコモ予防講座を4コース開催すると共に、自立体力測定を行う。また、前年度参加者の体力測定も予定している。</p> <p>9月には「仲間と一緒に『自立体力プログラム!』～健康寿命を延ばそう」と題し、介護予防講演会を開催する。介護予防の観点からの『プラス10分の運動』を、自発的に取り組める環境づくりを行う。</p>						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 65%	<p>(1)2回開催したきくがわ体操体験会へは合計57人が、9月6日に開催した介護予防講演会へは37人が参加した。ロコモ予防教室へは、①に18人②に17人の参加があり、今年度は残り2コースとなった。出前行政講座は10月末までに32件行った。(2)3月末までにいずれかの事業から自主グループができるよう、介護予防の重要性についての意識付けをしながらサポートしていきたい。(3)平成29年度の事業を検討した結果、ノルディックウォークを取り入れた事業を予定している。</p>						

基本事業① 付加価値の高い農業モデルの創出

事業名	菊川市次世代農業推進事業(拠点整備)						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	地域の担い手へ農地を集積し、機能性に優れた高付加価値野菜を生産するとともに、市民農園や直売所・加工所を併せて整備することで、地域農業の振興拠点の創出を図る。また、幼保園、小学校などに農場を提供し、「食育の場」として活用する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	△	○	○	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	交流エリアにおける露地栽培圃場の確保・施設等の建設				単位	—
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		計画作成	計画作成、 測量・設計	計画調整	基盤整備	施設建設
	実績	耕作 放棄地	計画作成	検討中			
平成27年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組み法人の設立。・ アドバイザーやコンサル等の選定および財源確保。・ 交流エリアの事業計画および積算。・ 交流エリアの測量、設計、造成、施設建設等における財源確保。・ 幼保冠水対策の早期決定。 ・ 次世代、食育エリアの幼保冠水対策を踏まえた構想の立て直し。・ 次世代、食育エリアの事業計画および積算。・ 測量、設計、造成、施設建設等における財源確保。 						
平成28年度の取組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組み法人の早期設立。・ アドバイザーやコンサル等の選定および財源確保。・ 3エリアの内、交流エリアの事業計画および測量、設計。 						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 40%	<p>(1) 検討会実施 実施日 5/16. 6/9. 6/13. 6/25. 7/11. 7/12. 8/2. 9/2. 9/6. 9/15. 10/6. 10/20. 10/26 法人を設立 設立日 6/13 交流エリア計画決定(～H31) 測量設計変更H28→H29</p> <p>(2) 榊つきの丘との雇用についての検討</p> <p>(3) ○企画立案：内陸フロンティア、アグリ姫、地域特産物、グリーンツーリズム等を絡め内陸フロンティアを核とした市農業と定住及び交流人口増を図る今後の展開の企画立案を行う。</p> <p>○次世代農業推進区域内の交流エリアの測量・調査：内陸フロンティアに指定されたことによる次世代農業推進区域内の交流エリアにおける農地造成のため測量・調査を実施する。</p>						

基本事業① 付加価値の高い農業モデルの創出

事業名	新規就農者への積極的な農地あっせん						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	地元農業委員などと協力し優良農地の確保に努め、新規就農者等へ積極的にあっせんする。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	農地バンク※1 と人・農地プラン※2 の連動した運用				単位	—
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		農地バンク構築	検討	構築	運用開始	運用検証
	実績	—	農地バンク構築	検討中			
平成27年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農地バンク(農地)と人・農地プラン(人)のマッチングの仕組みの構築。 ・農地の所有者(出し手)と担い手(借り手)に対してマッチングの仕組みを周知する方法の検討。 ・農地バンクに登録された農地の情報管理(更新)と方法(借り手がいないまま数年経過した場合の現地状況等)。 						
平成28年度の取組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ・農地バンク(農地)と人・農地プラン(人)のマッチングの仕組みの検討。 ・農地の所有者(出し手)と担い手(借り手)への周知方法の検討。 ・農地バンクに登録された農地の情報管理(更新)方法の検討(借り手がいないまま数年経過した場合の現地状況等)。 ・人・農地プランの更新。 						
平成28年度中間報告【進捗度】 85%	<p>(1) 検討、調整を実施した。検討日等：随時 人・農地プラン更新の実施及び見込み 更新日：5/26.10/4.1/25(予定)</p> <p>(2) 周知と情報収集方法の改善</p> <p>(3) ○人・農地プランの作成、協議：地域の担い手と農地のマッチングを効率よく図るための検討、協議等を行う。</p> <p>○人・農地プラン農地集積図作成：地域の担い手と農地のマッチングを図るため農地集積図を作成し、人と農地を効率的に管理することで担い手への集積や耕作放棄地化の未然防止に繋げる。</p>						

基本事業② 農産物のブランド化

事業名	地域特産物推進事業						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	地域農業の産地化を図るための新作目の生産技術の研究開発や地域特産作物の創設（ブランド化）を行い、菊川市特産作物として発信・推進する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	◎	◎	◎	◎	◎	
	実績	◎					
事業指標	指標	地域特産物のべ開発数				単位	数
		H26 (基準値)	H27	H28 (10/31 現在)	H29	H30	H31
	目標		試験栽培	試験栽培	試験栽培	1	2
	実績	0	0	試験栽培中			
平成 27 年度の課題	<p>○作物別 ・販路開拓。 ・栽培方法の確立。 ・ネーミング、パッケージと PR 方法の検討および財源確保。 ・生産者の確保。 ・プロモーション方法の検討。</p> <p>○全体 ・取組み形態の検討。（次世代農業法人への委託等※取組生産者＝次世代農業法人の構成員） ・JA の位置づけの検討と調整。（営農指導は必要だが地域特産物の販路として考慮するか） ・新たな推進作物の検討。（取り組んだ作物すべてが特産物になるとは限らない）</p>						
平成 28 年度の取組み予定	<p>・ちゃ豆・・・試験栽培、試験販売の実施・そら豆・・・試験栽培、取組み生産者の確保</p> <p>・オリーブ・・・試験栽培・高麗人参・・・試験栽培、視察</p>						
平成 28 年度 中間報告 【進捗度】 50%	<p>(1) ちゃ豆 実施：試験栽培及び試験販売 見込み：ネーミング、パッケージデザイン検討 そら豆 実施：試験栽培 高麗人参 実施：試験栽培、産地視察（6/13 長野県） オリーブ 実施：植樹、試験栽培及び圃場整備賃貸借契約書作成 見込み：圃場整備</p> <p>(2) 確実な試験栽培の実施</p> <p>(3) ○販路確保、拡充：関東などの都市圏を中心に特産物の売り込み等を行い販路の確保、拡充を図る。</p> <p>○ちゃ豆販売袋の企画及びイベント開催：ちゃ豆販売袋のパッケージデザインを行い、イベント等を通じて特産物として売り出す。</p> <p>○種子購入等補助：特産物として試験栽培を行う作物の種子や苗代の一部を補助し、開発の推進を図る。</p>						

基本事業③ 高収益作物との複合経営の推進

事業名	転作・営農指導						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	転換作物との複合経営に必要な知識や技術の普及や作物転換に必要な圃場の確保を行う。また、それにより耕作放棄地化を未然防止する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	△	○	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	転換や改良された農地面積				単位	ha
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標	H30年度からの転作に係る補助制度開始に向け、補助要綱等について検討を行い、H28年度に事業内容及び目標を決定する。					
	実績						
平成27年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度の制定および補助要綱の策定。 (補助対象要件、転作対象要件、対象者、対象農地、対象作業、補助額根拠、補助額等) 国の改植等支援事業における動向。(現段階では単年度支援か複数年支援か未定) 国の改植等支援事業がH28年度以降実施されない場合とされる場合(単年または複数年)の制度対応。 転作推進作物の選定、設定。(選定、設定するか否かを含め検討) 推進作物を設定した場合の栽培指導者の選定。 JAとの調整・連携。(国の改植等支援事業の窓口はJA、JAとしての推進作物の扱い、JAの栽培講習会や営農指導との関係、扱い) 						
平成28年度の取組み予定	転換費用軽減支援に係る制度の制定に向けJAや生産者等から意見聴取や調整を行う。						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 40%	<p>(1) 推進会議→打合せ、検討会に変更 打合せ：随時 検討会：H29.2月(予定) 制度素案完成</p> <p>(2) 検討委員による最終的な調整及び運用マニュアル等の作成</p> <p>(3) ○検討会の開催 関係機関や関係者により地域特産物等の高収益作物と市内の基幹作物との複合経営の推進を図るための検討会を開催する。</p>						

基本事業③ 高収益作物との複合経営の推進

事業名	転換費用軽減支援						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	作物転換に必要な圃場の確保及び転換に係る費用への支援を行う。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	△	○	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	転換や改良された農地面積				単位	ha
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標	H30年度からの転作に係る補助制度開始に向け、補助要綱等について検討を行い、H28年度に事業内容及び目標を決定する。					
	実績						
平成27年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度の制定および補助要綱の策定。(補助対象要件、転作対象要件、転作不可要件、対象者、対象農地、対象作業、補助額根拠、補助額、必要書類等) ※国は茶樹抜根費用に対する補助 国の改植等支援事業における動向。(現段階では単年度支援か複数年支援か未定) 国の改植等支援事業がH28年度以降、実施されない場合とされる場合(単年または複数年)の制度対応。 転作推進作物の選定。(選定するか否かを含め検討) 選定した場合の栽培指導者の選定。 JAとの調整・連携。(国の改植等支援事業の窓口はJA、JAとしての推進作物の扱い、JAの栽培講習会や営農指導との関係、扱い) 						
平成28年度の取組み予定	転換費用軽減支援に係る制度を制定する。						
平成28年度中間報告【進捗度】 40%	<p>(1) 推進会議→打合せ、検討会に変更 打合せ：随時 検討会：H29.2月(予定) 制度素案完成</p> <p>(2) 検討委員による最終的な調整及び運用マニュアル等の作成</p> <p>(3) ○検討会の開催：関係機関や関係者により地域特産物等の高収益作物と市内の基幹作物との複合経営の推進を図るための検討会を開催する。</p> <p>○複合経営と経営転換の推進(耕作放棄地の未然防止を含む)：耕作する茶園の一部を補完作物に転換することにより茶業経営の安定化を図る取り組みを支援し、基幹作物である茶の生産の安定化に資すると共に耕作放棄地の未然防止に取り組む。</p>						

基本事業④ 耕作放棄地化の未然防止

事業名	農林技術研究所との連携						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	転換作物との複合経営に必要な知識や技術の普及や作物転換に必要な圃場の確保を行う。また、それにより耕作放棄地化を未然防止する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	△	○	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	転換や改良された農地面積				単位	—
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標	H30年度からの転作に係る補助制度開始に向け、補助要綱等について検討を行い、H28年度に事業内容及び目標を決定する。					
	実績						
平成27年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国および県の耕作放棄地解消事業の動向。(国 H29 まで、県 H30 まで) ・国、県の事業延長がされたかった場合の「未然防止対策」と「解消対策」のバランスと財源確保。 ・未然防止と転換の取組みとの連携、調整。(ドリフト防止等) ・農地バンクと人・農地プランのマッチング。 ・転換に際する経費のデータ収集、算出。(抜根、土壌改良等) ・土壌改良に関する調査、データ収集。 						
平成28年度の取組み予定	制度の制定に向け土壌改良や転作作物について静岡県農林技術研究所から意見聴取等を行う。						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 60%	<p>(1) 推進会議→打合せ、打合せに変更 打合せ：随時 運用マニュアル等の作成 国および県の耕作放棄地解消事業の動向を反映した制度素案完成</p> <p>(2) 運用マニュアルの作成</p> <p>(3) ○耕作放棄地解消における取組みの推進 土質に応じた土壌改良方法の研究を行いながら耕作放棄地を解消することで優良な圃場を確保し、生産性や所得の向上、景観維持を図る。 ○耕作放棄の未然防止における取組み 小規模区画の水田の耕作放棄地化が目立つため、畦畔除去等を行うと共に、ジャンボタニシの生態等を研究し、発生抑止や防除方法を検討し、耕作放棄地の未然防止を推進する。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出
基本施策2 農業女子が輝ける菊川プロジェクト

基本事業① アグリ姫プロジェクト

事業名	農林大学校等と連携した女性の就農推進						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	農林大学校と連携し、女性の新規就農及び定住を図る。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	○	○	○	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	営農定着した農業女子の人数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標	H30年度からの女性農業者に係る補助制度開始に向け、補助要綱等について検討を行い、H28年度に事業内容及び目標を決定する。					
	実績						
平成27年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討組織の設立。 ・ 農業女子の定義をどうするか検討する必要がある。 ・ 営農定着の定義をどうするか検討する必要がある。 ・ 将来的に就農を希望する女性の見込み確認（人数）。 ・ 将来的に就農を希望する女性の要望把握。 ・ 住環境の整備、構築、財源確保（例：戸建ではなく共同住宅1棟を農業女子専用とし、その内1室を共有スペースとする）。 ・ 農林大学校を中心とした募集範囲、募集方法の検討と財源確保。 						
平成28年度の取組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討組織の設立。・ 農業女子の定義を検討、決定する。・ 営農定着の定義を検討、決定する。 ・ 将来的に就農を希望する女性の見込み確認（人数）。・ 将来的に就農を希望する女性の要望把握。 ・ 住環境の整備、構築。・ 農林大学校を中心とした募集範囲、募集方法の検討。 						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 30%	<p>(1) 推進会議→打合せ、検討会に変更 打合せ：随時 検討会：H29.2月（予定） 取組み内容の素案完成</p> <p>(2) 検討委員による最終的な調整及び運用マニュアルの作成</p> <p>(3) ○検討会の開催 関係機関や関係者により農業に携わる女性の活躍の場や機会を構築、拡充することで、市内への女性就農者の流入を促進し、人口増加や交流促進を図るための検討会を開催する。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出
基本施策2 農業女子が輝ける菊川プロジェクト

基本事業① アグリ姫プロジェクト

事業名	農業女子による情報発信						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	女性の新規就農者による情報発信を行い、市の魅力や取り組みを広く周知する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	○	○	○	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	営農定着した農業女子の人数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標	H30年度からの女性農業者に係る補助制度開始に向け、補助要綱等について検討を行い、H28年度に事業内容及び目標を決定する。					
	実績						
平成27年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討組織の設立。 ・ 農業女子と行政との就農後の関係について、市としてどのように関わっていくか検討する必要がある。 (就農後は行政と積極的に関わる機会がなくなってしまうが、市の魅力として売り出していくためには、就農後にどのように関わっていくかがむしろ重要である) ・ 農業女子の役割の検討。 ・ 農業女子による菊川市のPR内容、方法の検討と財源確保。(確保の必要があるか否かを含め) ・ 農業女子の組織化の検討。(組織化するか否かを含め) 						
平成28年度の取組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討組織の設立。 ・ 農業女子と行政との就農後の関わり方について検討する。 ・ 農業女子の役割の検討。 ・ 農業女子による菊川市のPR内容、方法の検討と財源確保。(確保の必要があるか否かを含め) ・ 農業女子の組織化の検討。(組織化するか否かを含め) 						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 30%	<p>(1) 推進会議→打合せ、検討会に変更 打合せ：随時 検討会：H29.2月(予定) 取組み内容の素案完成</p> <p>(2) 検討委員による最終的な調整及び運用マニュアルの作成</p> <p>(3) ○検討会の開催：関係機関や関係者により農業に携わる女性の活躍の場や機会を構築、拡充することで、市内への女性就農者の流入を促進し、人口増加や交流促進を図るための検討会を開催する。</p>						

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出
基本施策2 農業女子が輝ける菊川プロジェクト

基本事業②

女性が働きやすい環境整備

事業名	圃場環境整備支援事業					
担当	建設経済部農林課					
事業概要	女性が働きやすい圃場整備、作業場整備への支援を行う。					
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31
	計画	△	△	○	◎	◎
	実績	△				
事業指標	指標	営農定着した農業女子の人数				単位
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30 H31
	目標	H30年度からの女性農業者に係る補助制度開始に向け、補助要綱等について検討を行い、H28年度に事業内容及び目標を決定する。				
	実績					
平成27年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農地確保。 ・圃場位置の選定。(景観対応、ドリフト対応※環境補選型農業対応を含む等) ・農地形態の検討。(一団、点在(取決め無)、点在(意図的に配置)) ・圃場様態の検討。(茶、白畑、水田、ハウスのいずれか又は全てを用意するか否か) ・1人当たりの圃場面積の検討。(生活設計可能収入に対する必要圃場面積の試算等※作物別) ・転換や土壌改良を実施するか否かと実施する場合の財源確保。 ・土地改良事業を行うか否かと施行する場合の財源確保。 ・土地改良事業を行う場合の1区画当たりの圃場面積、農道等レイアウト。 					
平成28年度の取組み予定	検討組織の設立、補助制度の制定及び圃場位置の検討。					
平成28年度 中間報告 【進捗度】 30%	<p>(1) 推進会議→打合せ、検討会に変更 打合せ：随時 検討会：H29.2月(予定) 取組み内容の素案完成</p> <p>(2) 検討委員による最終的な調整及び運用マニュアルの作成</p> <p>(3) ○検討会の開催 関係機関や関係者により農業に携わる女性の活躍の場や機会を構築、拡充することで、市内への女性就農者の流入を促進し、人口増加や交流促進を図るための検討会を開催する。</p>					

△:検討 ○:実施に向けた準備等
◎:実施

基本目標3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出
基本施策2 農業女子が輝ける菊川プロジェクト

基本事業② 女性が働きやすい環境整備

事業名	作業環境整備支援事業						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	女性が働きやすい圃場整備、作業場整備への支援を行う。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	△	△	○	◎	◎	
	実績	△					
事業指標	指標	営農定着した農業女子の人数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標	H30年度からの女性農業者に係る補助制度開始に向け、補助要綱等について検討を行い、H28年度に事業内容及び目標を決定する。					
	実績						
平成27年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 資機材（車両含む）の選定と財源確保。 資機材（車両含む）の保管場所の選定。（場合によっては財源確保） 資機材（車両含む）の使用。（無償貸与、レンタル等） 燃料費の取り扱い。（場合によっては財源確保） メンテナンス、修繕費等の取り扱い。（場合によっては財源確保） 必要に応じ追加配備をするか否かの検討。 ハウスを設ける場合の内部設備等を含むか否か。 						
平成28年度の取組み予定	検討組織の設立、補助制度の制定及び資機材の検討。						
平成28年度 中間報告 【進捗度】 30%	<p>(1) 推進会議→打合せ、検討会に変更 打合せ：随時 検討会：H29.2月（予定） 取組み内容の素案完成</p> <p>(2) 検討委員による最終的な調整及び運用マニュアルの作成</p> <p>(3) ○検討会の開催</p> <p>関係機関や関係者により農業に携わる女性の活躍の場や機会を構築、拡充することで、市内への女性就農者の流入を促進し、人口増加や交流促進を図るための検討会を開催する。</p>						

第3編 資料編

1 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況

(1) 基本指標について

基本目標に設定されている5つの基本指標について、達成状況を報告します。

基本目標1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本指標	基準	目標	H27実績	H27達成状況
合計特殊出生率	1.66(H26)	1.76(H31)	— ※1	—
出生数	2,030人 (H22-H26累計) ※406人/年	1,955人 (H27-H31累計) ※391人/年	438人 (H27)	112%

※1 市区町村の合計特殊出生率は5年ごとに公表されるため算出不可

基本目標2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本指標	基準	目標	H27実績	H27達成状況
若年層(20歳~24歳)の転出超過の抑制	▲169人 (H22-H26比較)	▲118人 (H27-H31比較)	— ※2	—
転入超過数	324人 (H23-H26累計) ※81人/年	525人 (H27-H31累計) ※105人/年	219人 (H27)	209%

※2 H26時点の対象者とH31時点の対象者を比較するため算出不可

基本目標3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出

基本指標	基準	目標	H27実績	H27達成状況
市内への新規参入農業者	1人 (H26)	8人 (H27-H31累計) ※1.6人/年	1人 (H27)	63%

(2) 重要業績評価指数(KPI)について

基本施策に設定されている14の重要業績評価指数(KPI)について、達成状況を以下の通り報告します。評価については平成31年度の目標に対して行います。ただし、5年間の累計値を目標とする指標については、評価年度までの実績累計を、評価年度までの目標累計に対して評価します。(該当指標については評価欄内に※を記載)

【基本目標1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち】

基本施策① 子育て・教育環境の更なる充実									
重要業績評価指数	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	H31 目標	H27 実績	H27 達成状況
授業がわかると思う子どもの割合	88.0% (H26)	89.1%					90.0%以上	89.1%	99%
「安心して子どもを育てられるまち」の回答に占める「不満・やや不満」だと思う人の割合	14.4% (H26)	13.7%					14.0%以下	13.7%	102%
第2子以降の出生数	H21-25 累計 1,110人 ※222人/年	225人					累計 1,090人 ※218人/年	225人	103%
基本施策② 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち									
重要業績評価指数	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	H31 目標	H27 実績	H27 達成状況
観光交流客数	321,392人 (H26)	364,388					累計 1,620,000人 ※324,000人/年	364,388人	112%
基本施策③ シティプロモーションの実施									
重要業績評価指数	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	H31 目標	H27 実績	H27 達成状況
菊川市を知っている人の割合	63.8% (H27)	63.8%					90.0%	63.8%	71%
ホームページの魅力紹介ページのアクセス数(PV)	ページなし	2,379PV (2か月間)					H31 実績 100,000PV	2,379PV (2か月間)	14%

【基本目標2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち】

基本施策① 郷土愛を育むまち									
重要業績評価指数	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	H31 目標	H27 実績	H27 達成状況
菊川市に将来住みたいと思う高校生の割合	20.1% (H26)	26.8%					50.0%	26.8%	54%
基本施策② 「働く場」と「出会い」があるまち									
重要業績評価指数	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	H31 目標	H27 実績	H27 達成状況
事業所数	1,853 (H26)	1,876					1,860	1,876	101%
婚姻数	H22-26 累計 2,790 組 ※558 組/年	547 組					累計 2,810 組 ※562 組/年	547 組	99% ※
基本施策③ アクセスの良さを活かした住環境の整備									
重要業績評価指数	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	H31 目標	H27 実績	H27 達成状況
住宅取得補助制度の利用件数	制度無し	制度策定					累計 240 件 ※60 件/年	制度策定	— ※
基本施策④ 自己実現できるまちづくり									
重要業績評価指数	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	H31 目標	H27 実績	H27 達成状況
65 歳以上人口に占める要支援・要介護認定者の割合(%)	16.98% (H31)	14.52%					16.90% 以下	14.52%	116%

【基本目標3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出】

基本施策① 儲かる次世代農業モデルの推進									
重要業績評価指数	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	H31 目標	H27 実績	H27 達成状況
認定農業生産法人の数	16 法人 (H26)	17 法人					23 法人	17 法人	74%
転換作物作付面積	補助制度無し	補助制度検討					15ha	補助制度検討	— ※
基本施策② 農業女子が輝ける菊川プロジェクト									
重要業績評価指数	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	H31 目標	H27 実績	H27 達成状況
市内への新規参入女性農業者	—	0 人					3 人	0 人	0%

菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略
平成 28 年度進捗状況報告書(中間報告)

発行

菊川市 企画財政部 企画政策課
〒439-8650 静岡県菊川市堀之内 61 番地
(TEL) 0537-35-0900 (FAX) 0537-35-2117
E-mail : kikaku@city.kikugawa.shizuoka.jp